

事前聴取での意見の整理

	意見要旨	市の考え
1	諸室の用途を限定しないため、P 5 - 2 のゾーニングの文章に「ただし、利用形態に合わせて、ゾーニングにとらわれず可能性を持たせるように工夫を凝らします」と記載した方がよい。	記載させていただきます。
2	他の施設にはない新たな機能については、新機能と分かる表記をした方がよい。	各種図面においては着色し、表においては「※新機能」等の表記をします。
3	「サードプレイス」の意味が理解しにくいのではないか。	意味を理解していただけるよう、説明の文言を追加します。
4	P 4 - 1、P 4 - 2 における「多世代交流」に関する考え方について。	資料 4 P 3 上段でのご説明と重複しますが、施設利用者のニーズを考慮し施設運用の中で検討していきます。
5	「駅前立地」の有効活用について。	にぎわいゾーンに設置を予定しているコミュニティカフェやオープンスペースで朝市等のイベントを開催し、施設利用者のみではなく駅利用者の施設利用を促し駅前立地の優位性を活用していきたいと考えています。
6	「子育て支援」、「食育」に関する施設の設備について。	資料 4 P 1 中段でご説明をさせていただいた内容と重複しますが、施設面積等の関係から施設運用の中で検討していきます。
7	第 1 老人及び第 2 老人福祉センターにはない魅力について。	資料 3 P 5 - 1 以降にあるように、既存の第 1 老人及び第 2 老人福祉センターにはない機能として多世代交流に視点を置いた「にぎわいゾーン」を導入する予定であります。このゾーンの中で、各種イベントやプログラムを実施するよう施設運営の中で検討していきます。

<p>8</p>	<p>市内の 60 歳以上の市民の内、老人福祉センターを一度も利用していない方の割合について。 また、利用者を増やすための周知について。</p>	<p>割合については下表のとおりです。 また、より多くの方に利用していただけるよう、指定管理者と協働し広報こまきやホームページなどで積極的にPRをしていきたいと考えております。</p> <p>《表 老人福祉センターの利用率》</p> <table border="1" data-bbox="906 521 1442 860"> <thead> <tr> <th></th> <th>第 1 老人福祉センター</th> <th>第 2 老人福祉センター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用証 発行者数</td> <td>4,303 人</td> <td>8,686 人</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>約 10%</td> <td>約 19%</td> </tr> <tr> <td>利用していない方の割合</td> <td>約 90%</td> <td>約 81%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※市内 60 歳以上人口：44,842 人 ※12 月 1 日時点での数値</p>		第 1 老人福祉センター	第 2 老人福祉センター	利用証 発行者数	4,303 人	8,686 人	利用率	約 10%	約 19%	利用していない方の割合	約 90%	約 81%
	第 1 老人福祉センター	第 2 老人福祉センター												
利用証 発行者数	4,303 人	8,686 人												
利用率	約 10%	約 19%												
利用していない方の割合	約 90%	約 81%												
<p>9</p>	<p>風呂場の利用可能人数について。</p>	<p>既存の第 1 老人及び第 2 老人福祉センターの風呂場は一度に約 15 名が利用できる設計となっております。(仮称)小牧市第 3 老人福祉センターにおいても、既存施設の状況を踏まえ、風呂場の面積を来年度の基本設計の中で検討していきます。</p>												